

■コンセプト ～『エネルギー溢れる新たなターミナル』

・新たなターミナル

【駅周辺】

- ・近鉄奈良線との接続駅であり、当面のモノレールの終着駅となる。
- ・以南のバス路線や空港等への高速バス等の導入が見込まれる。
- ・教育施設、医療施設、文化施設が多く立地していることから、ターミナルの誕生により「にぎわいゾーン」が形成され、周辺施設を防災拠点とすることで、災害に強いまちづくりが進められることが期待される。



【近鉄奈良線沿線施設】

- ・生駒山や花園ラグビーなどへのアクセス利便性が向上
(生駒山には、東大阪市の花である「梅」の名所の枚岡梅林もある)



「生命力・健康」などの活力のあるイメージを外観デザインに取り込む

●外観デザイン概要【コンセプトカラー】

- ・生命力、健康、エネルギーのイメージとして「赤」「ピンク」「黄緑」などを取り入れることを検討（「梅」の色と併せることもできる）



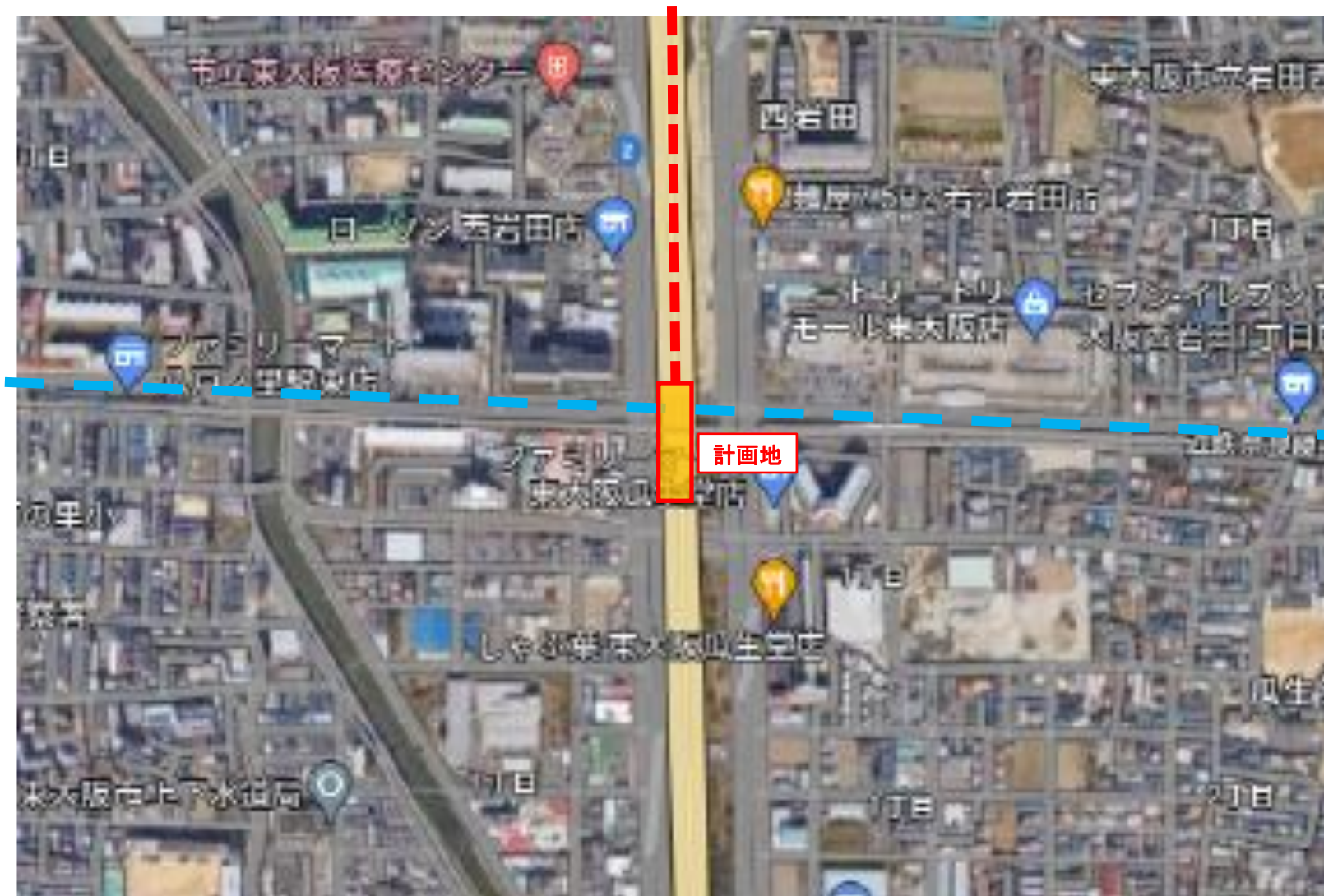
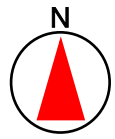
■事業概要

事業名称	大阪モノレール延伸事業 瓜生堂駅(仮称)				工事種別	新築		
敷地概要	事業地の位置	東大阪市西岩田三丁目地内 外						
	用途地域	近隣商業地域/準工業地域			防火地域	防火地域/準防火地域		
	敷地面積		建蔽率	80%/60%	容積率	300%/200%		
	その他制限等	防火地域、準防火地域						
施設概要	事業種別	<input type="checkbox"/>	道路	<input type="checkbox"/>	河川	<input type="checkbox"/>	港湾	
		<input type="checkbox"/>	ため池・水路	<input type="checkbox"/>	ダム	<input type="checkbox"/>	砂防	
		<input type="checkbox"/>	公園緑地	<input checked="" type="checkbox"/>	公共建築物			
		<input checked="" type="checkbox"/>	その他(駅舎)					
	構造・規模	鉄骨造(土木建築構造物)、地上3階建て(2階コンコース階、3階ホーム階)、 延べ面積:約2,800㎡(総床面積:約4,700㎡)						
担当部署	設計担当 工事担当	モノレール建設事務所/(インフラ外は大阪モノレール株式会社)						
	施設所管	モノレール建設事務所(完成後は八尾土木に引継ぎ)/(インフラ外は大阪モノレール株式会社)						

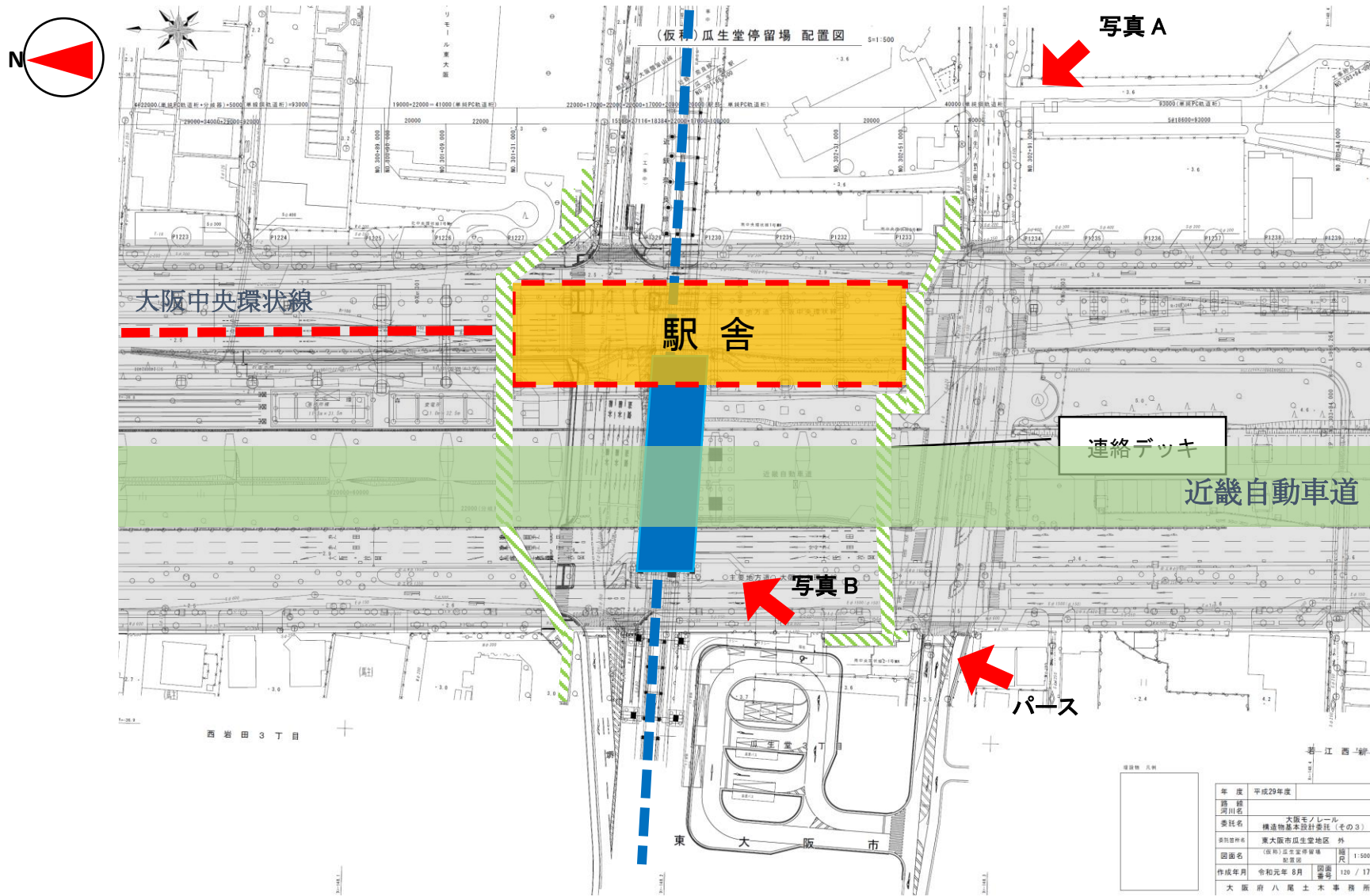
■付近見取図



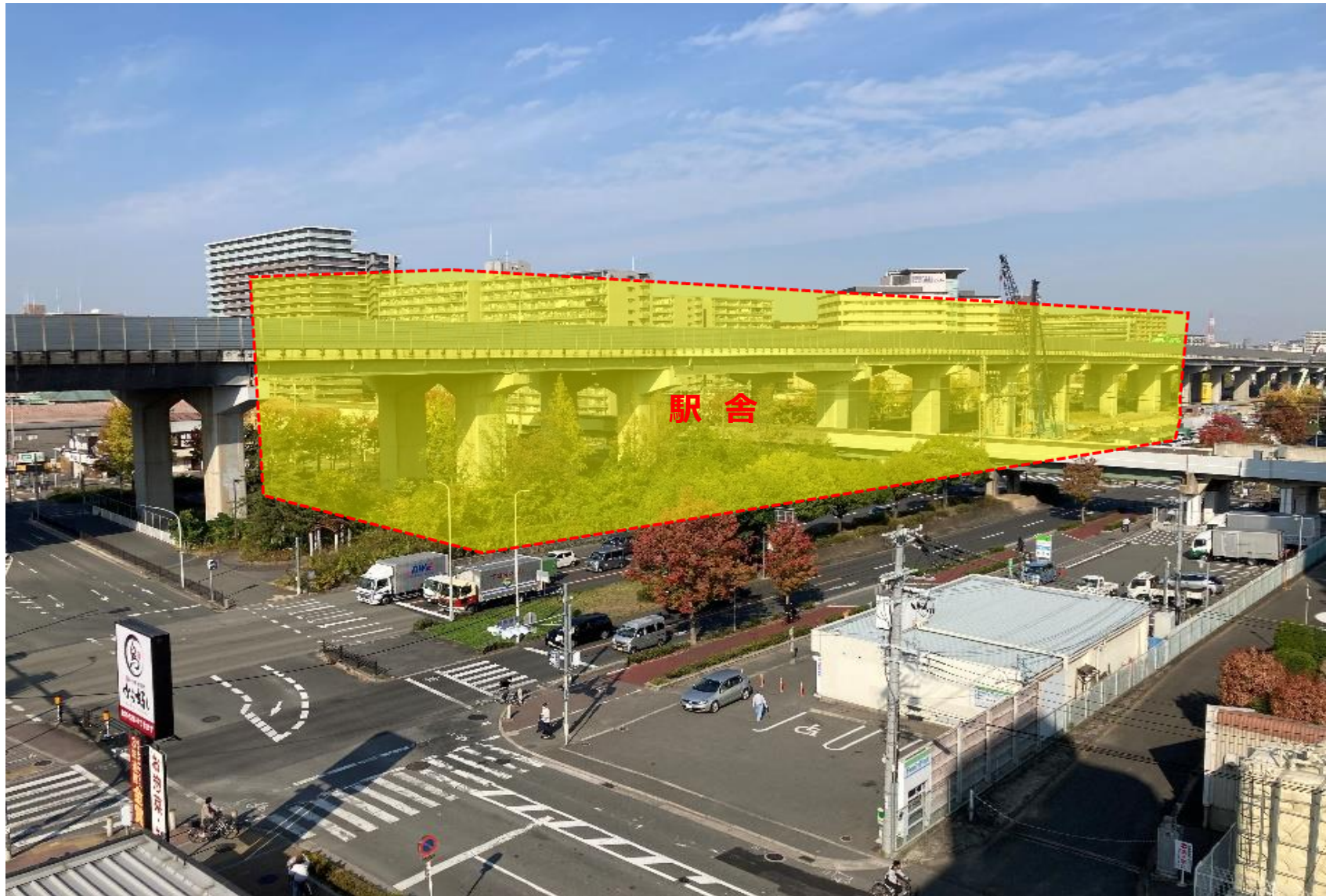
■付近見取図 (写真)



■配置計画図



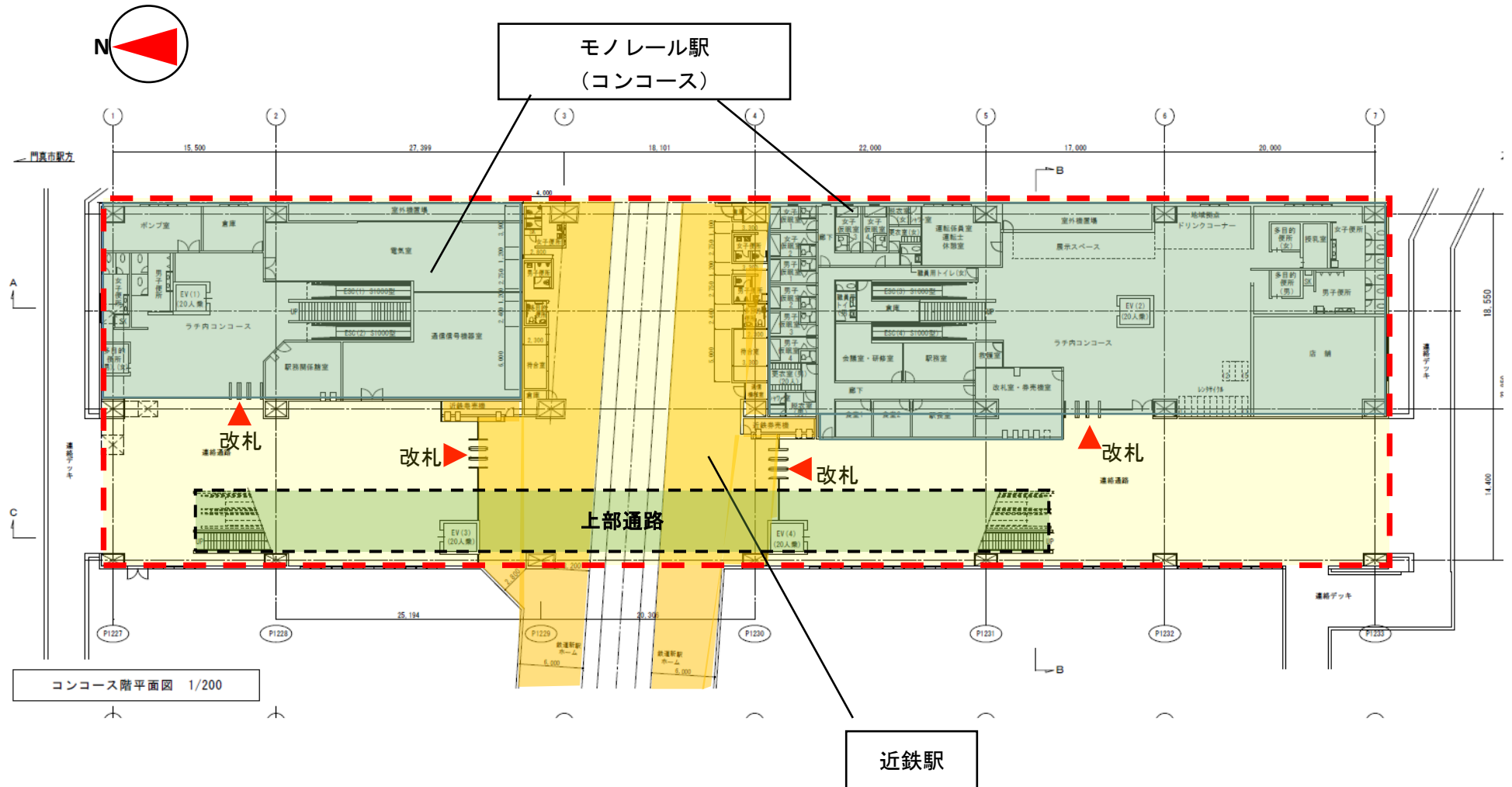
■写真A：建設地（南東側より）



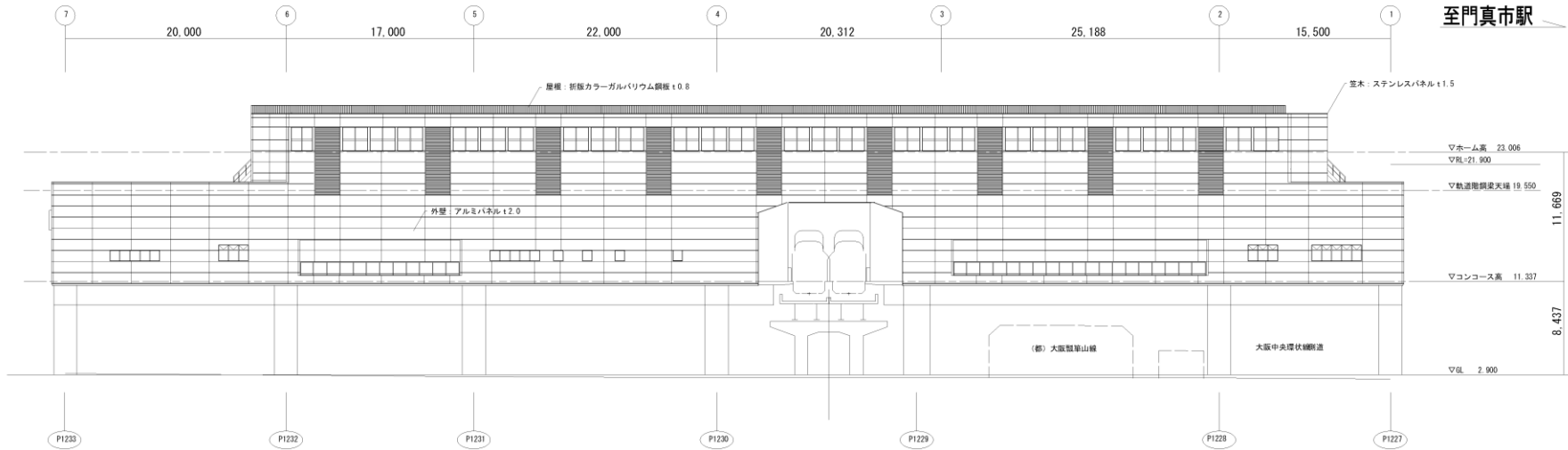
■写真B：建設地（南西側より）



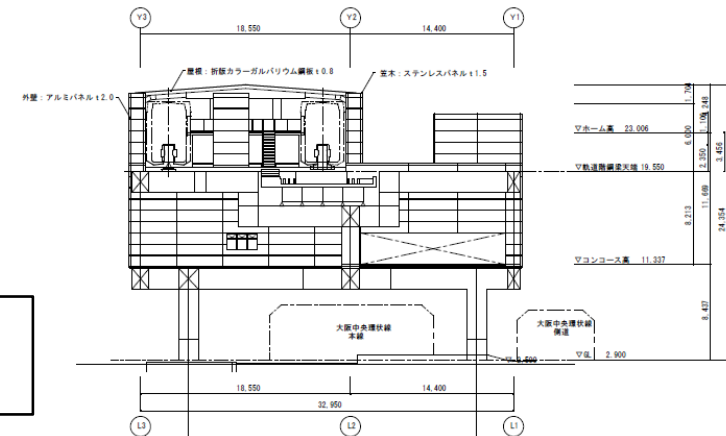
■ 平面図 (コンコース階)



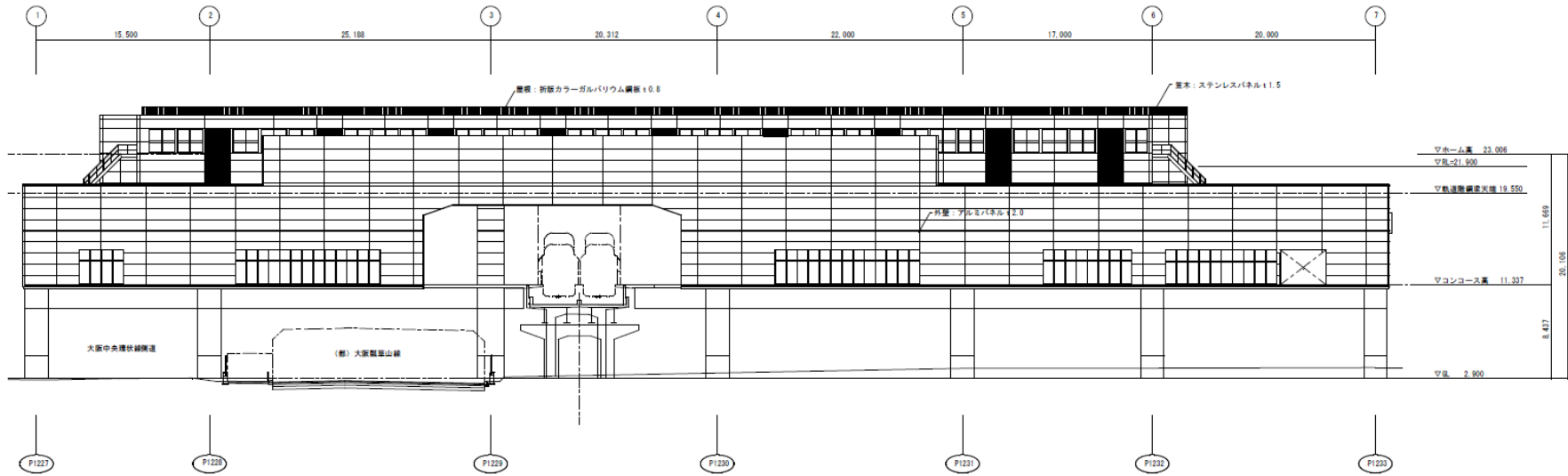
■ 立面図



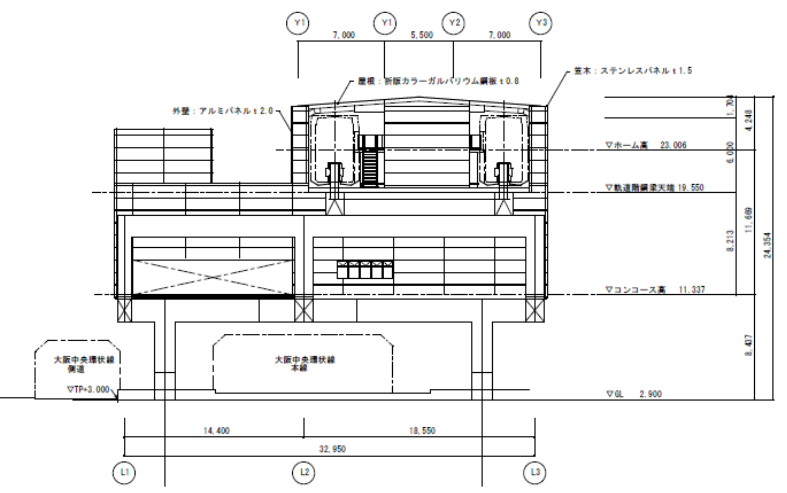
東側立面図



北側立面図



西側立面図



南側立面図

■パース (西側より)



■景観形成の目標設定シート

1. 指針や基準を確認する		
事業地の景観計画等	景観行政団体名	東大阪市
	景観計画名	東大阪市景観計画
	景観計画区域名	特になし
景観計画区域に規定された景観形成の方針や規制内容	建築物の概形	特になし
	高さの最高限度	特になし
	壁面位置	特になし
	色彩	外壁及び屋根等の基調となる色彩は著しく派手なものとしなない。
	その他	
『大阪府公共事業景観形成指針』における関連内容の確認	確認状況	確認済み
2. 事例を確認する		
参考となる事業の事例を確認	事例とした施設名	大阪モノレール各駅
	(所在)	大阪府池田市～豊中市～吹田市～茨木市～摂津市～守口市～門真市

■ 景観形成の目標設定シート

3. 周辺の景観の特徴を確認する		
■ 立地特性や周辺のまちなみ・景観資源等の確認		
周辺の地形上の特徴	平坦な市街地	
周辺の景観を構成する主要要素	<ul style="list-style-type: none"> ・道路構造物（近畿自動車道、大阪中央環状線） ・鉄道施設（近鉄奈良線） 	
周辺の景観を構成する特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪中央環状線の直上に駅が建設される。 ・近鉄奈良線が交差し、近鉄駅が複合的に建設される。 ・西側に近畿自動車道（高架）が並走する。 ・北東側に大型店舗が立地しているが高さはそれほど高くない。 ・その他、周辺には高層マンションなども立地。 	
道路（沿道）から計画地までの景観上の特徴	沿道である大阪中央環状線の直上に駅が建設される。	
周辺の照明等、夜間景観の特徴	店舗等が多いこともあり、夜間でも比較的明るい。	
その他	瓜生堂遺跡、西岩田遺跡、モノレール車両基地	
■ 周辺からの見え方の確認		
計画地を望む主な視点場	遠景	生駒山系から
	中景	車道上から、近鉄車両内から、モノレール車両内から
	近景	歩道上から
計画地の見え方	遠景	周囲の建築物や近鉄線及び道路施設と相まった風景
	中景	駅全体のフォルム、近鉄線との交差
	近景	<ul style="list-style-type: none"> ・駅にモノレール車両が包み込まれる風景 ・近畿自動車道を背景に駅を望むことができる

■景観形成の目標設定シート

4. 共通指針のチェック		
施設、要素	景観形成指針	景観に関する基本的な考え方
公共建築物	景観づくりの手本としての景観形成	外壁色彩にコンセプトカラーを取り入れることで存在感を高めつつ、周辺との調和をはかる。
	設備関係附帯物	・ポンプ室とごみ置き場を駅舎の真下に設置するが、位置や外観について景観を損なうものとならないよう配置や色彩等について配慮する。
	駐車場・ごみ置き場等	・コンコース階に設ける室外機置場は、フェンスで囲み、駅舎壁面と同色とする等、景観を損なわないよう配慮する。
	適切な維持管理・耐震改修時	維持管理にあたり、排ガスによる汚れの付着や、通行車両等への対策を考慮する必要があるため、駅舎の形状や外壁の材質の選定に配慮する。
附属物	照明方法、夜間景観への配慮	駅舎に外壁面にはガラスが多用されるため、周囲の状況と相まったの良好な夜間景観となるよう検討を行う。
	標識・サイン等	サインは、大阪モノレール株式会社の社内基準等に基づき整備されるが、コンセプトとして整理した観点も用いることができないか、大阪府から働きかける。

■景観形成の目標設定シート

5. 計画地の景観上、最も重要なポイントを確認する

- ・近鉄線や近畿自動車道等の道路構造物との関係性を考慮する。
- ・他駅と違い、フォルムが複雑となる。

6. 景観形成の目標（景観に関する考え方）を立てる

No	内容
1	東大阪市の意向を確認して、デザイン整理を進める。
2	近鉄線や道路構造物との調和をはかる。また、駅のフォルムが他駅と異なることを特徴とできるよう検討する。
3	コンセプトにおいて整理した内容をふまえ、外壁にはアクセントカラーを取り入れる。
4	大阪中央環状線を通行する車両や連絡デッキの歩行者の視点に留意する。
5	モノレールの既設区間からの連続性を踏襲することで、利用者の安心や利便性、利用促進につなげる。